

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2014 年 1 月 1 日 ～ 2025 年 1 月 31 日の間 に、 常染色体顕性多発性嚢胞腎(ADPKD) のために虎の門病院腎センター内科に入院・通院し、高尿酸血症に対してベンズプロマロン服用開始された方

【研究課題名】

ベンズプロマロンを投与された高尿酸血症を合併した常染色体顕性多発性嚢胞腎（ADPKD）の腎容積・腎機能の変化についての調査 -後ろ向き観察研究-

【研究の目的・背景】

《目的》

ADPKD の方にベンズプロマロンが投与された際の総腎容積増大抑制作用や腎機能に与える影響などを評価することです。

《研究に至る背景》

高尿酸血症治療薬であるベンズプロマロンは嚢胞増大に関与するとされる一部分を阻害することで嚢胞増大抑制効果を示す可能性が示唆されています。

【研究期間】

2025 年 9 月 19 日 ～ 2030 年 3 月 31 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 大阪府済生会中津病院 において研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報は虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない

番号等におきかえたうえで、大阪府済生会中津病院・腎臓内科へパスワードを付けてメール添付で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、心電図、MRI 画像データ、CT データ、薬歴など

【研究代表者】

大阪府済生会中津病院 ・ 腎臓内科 ・ 田中敬雄

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：腎センター内科 ・ 和田健彦

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

大阪公立大学 ・ 代謝内分泌病態内科学 ・ 仲谷慎也

東京女子医科大学 ・ 内科学講座腎臓内科学分野 ・ 星野純一

順天堂大学医学部附属病院練馬病院 ・ 泌尿器科 ・ 武藤 智（研究統括者）

順天堂大学感染制御学講座 島田 陽介（統計解析担当者）

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025 年 12 月 26 日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 腎センター内科 ・ 関根章成

電話 03-3588-1111(代表)